

科目	地域・在宅看護概論				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	① 松原文子				
実務経験	① 保健師(地域包括支援センター等)				
ねらい	<p>すべての人々は地域で生活を営んでおり、入院治療が必要になったときに病院で看護を受け、地域に暮らしているときに地域で看護を受ける。地域で暮らす人々の生活と健康を支えることは看護の基本である。</p> <p>本科目の目的は、地域の人々の生活「暮らし」について考え、その「暮らし」が営まれている「地域」について理解し、これから学ぶ地域で暮らす人々の生活と健康を支える看護の基礎を構築することである。</p>				
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の対象を日々暮らしを営んでいる生活者として理解し、その暮らしと健康との関係について考えることができる。</li> <li>2. 人々の暮らしを多角的、学問的に理解し、そのうえで地域・在宅看護の意味、地域・在宅看護が重視される社会的背景を理解できる。</li> <li>3. 暮らしとはなにかを考え、地域・在宅看護とはどのような看護か、またその求められる役割について学ぶ。</li> <li>4. 人々の暮らしの理解を踏まえ、地域とはなにかを理解する。</li> <li>5. それぞれの地域は様々な特徴を持つことを学び、地域の捉え方を理解する。</li> <li>6. 暮らしは地域の特性に大きな影響を受けていることを理解し、保健医療福祉をはじめとする様々な分野で、地域が重要視されていることについて学ぶ。</li> <li>7. 「地域共生社会」および「地域包括ケアシステム」の具体的なイメージを持つことができる。</li> </ol>				
授業計画					
回	内容				
1	人々の暮らしと地域・在宅看護				
2	人々の暮らしと地域・在宅看護 【暮らしを理解する】				
3	暮らしの基盤としての地域の理解 コミュニティとは、地域包括ケアシステムとは				
4	暮らしの基盤としての地域の理解 【地域を理解する】				
5	地域・看護の対象				
6	地域・看護の対象				
7	地域・看護の対象 【家族を理解する】				
8	学習のまとめ				
評価方法	学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	地域・在宅看護論の基礎:医学書院				